

特集

東京大学経済学部資料室開室記念シンポジウム

資料を残す・未来に伝える

～Library・Museum・Archivesをつなぐ～

東京大学経済学部資料室の淵源は法科大学に開設された商業資料文庫にまで溯ります。以後、約1世紀の間に幾多の変遷を経て、現在では、経済学研究科学術交流棟（小島ホール）3階に設置されています。この建物は小島グループ代表・小島鏡次郎氏からの寄附に基づき平成21（2009）年に建設されたもので、「図書館の整備のため」という寄附の趣旨にのっとり、経済学図書館が所蔵する貴重な一次資料を保存・管理するための施設として様々な工夫が施されています。資料室は平成22（2010）年2月にこの建物へ移転し、4月から正式に業務を開始しました。

現在の資料室は、日本経済国際共同研究センター附属であった資料室と文書室を統合し、経済学図書館の一部門として平成21年4月に設置され、資料室長（経済学図書館長兼任）のもとに資料・文書の二部門から構成されています。

資料室の取り扱う資料は企業資料、労働資料、行政資料等の一次資料や古文書をはじめとして、経済学関係の古典籍から古貨幣などの博物資料に及びます。資料室は、内容的に図書館、文書館、博物館の三者にまたがる資料を収集、整理、公開するとともに、歴史資料そのものへの史料学的研究や保存に関する調査・研究を進め、近世・近現代資料を後世に永く伝えるため日々活動を続けています。

本特集所収の報告は、資料室の移転開室を記念し平成22年7月30日（金）に開催したシンポジウムの内容に基づき、各講師が加筆訂正したものです。講師及び参加者の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

特集目次

1. シンポジウム実施報告および参加者アンケート集計結果
2. 開会挨拶 伊藤正直
3. 公文書保存の現況と課題 高山正也
4. 日本銀行金融研究所アーカイブの現況と課題 斧淵裕史
5. ライブラリー、アーカイブ、ミュージアム
をつなぐ役割－資料の保存 佐野千絵
6. 東京大学経済学部資料室の概要 矢野正隆
7. 総合討論 高山正也・斧淵裕史・佐野千絵・矢野正隆、司会：伊藤正直
8. 閉会挨拶 高杉泰穂



シンポジウム実施報告および参加者アンケート集計結果

東京大学経済学部資料室開室記念シンポジウムおよび施設公開実施報告

(1) 開室記念シンポジウム

「資料を残す・未来に伝える ―Library・Museum・Archivesをつなぐ」

- ① 開催日時：平成22年7月30日（金） 午後1時より午後5時まで
- ② 会場：東京大学本郷キャンパス 経済学研究科学術交流棟（小島ホール）2階
小島コンファレンスルーム
- ③ 趣旨：東京大学経済学部資料室は大学図書館としての機能のほか、取り扱う資料や調査・研究活動の内容においては文書館や博物館的な側面を多分に有している。そこで、文書館や博物館に関わる方々とともに「資料を残し未来に伝える」という面から現況と課題について分析し、資料保存の今後について広く全体で討論する場を設ける。
- ④ 実施概要
 - ・開会挨拶 伊藤正直（東京大学経済学図書館長）
 - ・報告（1）「公文書保存の現況と課題」 高山正也（国立公文書館長）
 - ・報告（2）「日本銀行金融研究所アーカイブの現況と課題」
斧淵裕史（日本銀行金融研究所アーカイブ館長）
 - ・報告（3）「資料の保存環境―設計と管理」
佐野千絵（東京文化財研究所保存科学研究室長）
 - ・報告（4）「東京大学経済学部資料室の概要」
矢野正隆（東京大学経済学部資料室特任研究員）
 - ・総合討論 パネラー：高山正也、斧淵裕史、佐野千絵、矢野正隆
司 会：伊藤正直
 - ・閉会挨拶 高杉泰穂（東京大学経済学図書館専門員）
全体進行：小島浩之（東京大学経済学部資料室室長代理）
- ⑤ 参加者数 73機関 125名（うち学内23名）

(2) 施設公開

- ① シンポジウムに先立ち、総定員60名（事前申込制、各回30名）の施設見学会を開催した。
- ② 第1回 9:40-10:20 第2回 10:30-11:10
- ③ 参加者数 38機関 56名（うち学内2名）

アンケート様式

東京大学経済学部資料室 開室記念シンポジウム アンケート

今後の当室の活動の参考にさせていただきますので、是非ご協力ください。お帰りの際にも受付の方までご提出ください。

1. 今回のシンポジウムの内容はいかがでしたか。次の5段階でお答えください。1: 大変参考になった 2: 参考になった 3: どちらともいえない 4: あまり参考にならなかった 5: 聴講・参加していない
 - ①シンポジウム全般を通して ()
 - ②高山講師報告 ()
 - ③斧渕講師報告 ()
 - ④佐野講師報告 ()
 - ⑤矢野講師報告 ()
 - ⑥ディスカッション ()
 - ⑦シンポジウム全般
 - ⑧施設見学会 ()

2. 講師の報告について、興味深かったこと、疑問点、要望などご自由にお書き下さい。

3. シンポジウムのディスカッションについて、興味深かったこと、疑問点、要望などご自由にお書き下さい。

4. 施設見学会について感想があればお書きください（見学参加者のみ）。

(裏面に続きます)

5. その他、今回のシンポジウムにご感想やご意見があれば、ご記入ください。

6. 今回のシンポジウムの開催をどこでお知りになりましたか。該当するものをチェックしてください。

東京大学経済学図書館の Web サイト

他の Web サイト ()

ブログ

Twitter

メールングリスト

ポスター

チラシ

その他 ()

7. 参加者ご自身について該当するものをチェックしてください。

①年齢

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

②性別 男 女

③職種 図書館員 博物館・美術館員 文書館員 教員

研究職（教員を除く） 大学院生 学生 一般

その他 ()

④差し支えなければご所属機関をお書き下さい。

ご協力いただきありがとうございました。

2010年7月30日開催 開室シンポジウム アンケート集計結果

入場者数 125
集計数 58 回収率約:46.4%

■7-②性別

男	23	39.7%
女	33	56.9%
無回答	2	3.4%

■7-①年齢

10代	0	0.0%
20代	7	12.1%
30代	22	37.9%
40代	8	13.8%
50代	12	20.7%
60代	5	8.6%
70代	2	3.4%
無回答	2	3.4%

■7-③職種

図書館員	28	48.3%
博物館・美術館員	1	1.7%
文書館員	2	3.4%
教員	1	1.7%
教員以外の研究職	3	5.2%
大学院生	3	5.2%
大学院以外の学生	2	3.4%
一般	8	13.8%
その他	7	12.1%
無回答	3	5.2%

その他は「企業資料協議会関係者」「会社役員」「業者」「書店」「地方公務員事務職」など

■6 シンポジウムを知った媒体など

経済学部図書館Webサイト	8	13.8%
ほかのWebサイト	2	3.4%
ブログ	0	0.0%
Twitter	0	0.0%
メールリスト	15	25.9%
ポスター	8	13.8%
チラシ	8	13.8%
友人・知人より	7	12.1%
その他	7	12.1%
無回答	3	5.2%

その他は「企業資料協議会事務局よりチラシ配布」「郵送ご案内とポスター」「直接のご案内」「所蔵機関を通じて」「職場から」など

■1 内容評価

①全般を通して

大変参考になった	32	55.2%
参考になった	16	27.6%
どちらともいえない	1	1.7%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
聴講・参加していない	2	3.4%
無回答	7	12.1%

②高山講師報告

大変参考になった	28	48.3%
参考になった	14	24.1%
どちらともいえない	4	6.9%
あまり参考にならなかった	1	1.7%
聴講していない	5	8.6%
無回答	6	10.3%

③斧淵講師報告

大変参考になった	36	62.1%
参考になった	11	19.0%
どちらともいえない	1	1.7%
あまり参考にならなかった	1	1.7%
聴講していない	5	8.6%
無回答	4	6.9%

④佐野講師報告

大変参考になった	47	81.0%
参考になった	5	8.6%
どちらともいえない	1	1.7%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
聴講していない	2	3.4%
無回答	3	5.2%

⑤矢野講師報告

大変参考になった	30	51.7%
参考になった	17	29.3%
どちらともいえない	3	5.2%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
聴講していない	2	3.4%
無回答	6	10.3%

⑥ディスカッション

大変参考になった	28	48.3%
参考になった	9	15.5%
どちらともいえない	3	5.2%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
聴講していない	6	10.3%
無回答	12	20.7%

⑦施設見学会

大変参考になった	20	34.5%
参考になった	4	6.9%
どちらともいえない	0	0.0%
あまり参考にならなかった	0	0.0%
参加していない	17	29.3%
無回答	17	29.3%